



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高萩光紀
 コード番号 5016 東証一部・大証一部・名証一部
 問合せ先 取締役 総務グループ総務担当 加賀美和夫
 電 話 03-5573-5129

連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 30 日に発表した平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想並びに平成 22 年 3 月期の期末配当および年間配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 4 月 30 日発表)	3,050,000	103,000	115,000	60,000	64 円 77 銭
今回修正予想(B)	3,120,000	55,000	75,000	40,000	43 円 18 銭
増減額(B-A)	70,000	△48,000	△40,000	△20,000	—
増減率	2.3%	△46.6%	△34.8%	△33.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期 通期)	4,065,059	△101,667	△67,433	△40,794	△44 円 02 銭

<修正の理由>

売上高は、原油情勢を反映した石油製品価格および金属価格の上昇を主因として増収となる見込みであります。経常利益は、銅価上昇・電材加工製品の増販に伴う増益はありますが、石油製品のマージン悪化、自家燃コストの上昇等を主因として、400 億円減少し 750 億円となる見込みであります。また、当期純利益は、経常利益の減少等により、200 億円減少し 400 億円となる見込みであります。

<セグメント別経常利益内訳(平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回発表	今回発表	差異	経常利益差異説明	20 年度実績
石油 グループ	売上高	23,600	23,700	100	石油製品のマージン悪化、自家 燃コストの上昇等により減益	31,161
	経常利益	850	405	△445		△1,052
金属 グループ	売上高	6,500	7,170	670	銅価上昇、電材加工製品の増販 等により増益	9,021
	経常利益	300	350	50		285
独立機能 グループ	売上高	720	650	△70		847
	経常利益	0	△5	△5		92
消 去	売上高	△320	△320	-		△379
	経常利益	1,150	750	△400		△674
計	売上高	30,500	31,200	700		40,651
	経常利益	1,150	750	△400		△674

2. 平成 22 年 3 月期 配当予想の修正

	1株当たりの中間配当金	1株当たりの期末配当金	1株当たりの年間配当金
前回発表予想(A) (平成 21 年 4 月 30 日発表)	7 円 00 銭 ～8 円 00 銭	検討中	検討中
今回修正予想(B)	7 円 50 銭	7 円 50 銭	15 円 00 銭
増減額(B - A)	50 銭 ～ △50 銭	-	-
(ご参考) 前期の実績(平成 21 年 3 月期)	8 円 00 銭	6 円 00 銭	14 円 00 銭

<修正の理由>

前回発表は、通期の原油価格および金属価格の変動等による業績への影響を勘案し、期末配当金および年間配当金を検討中としましたが、今回は年度業績で黒字化が見込めること等から、年間配当金を前期に比べ1株につき1円増配の15円といたしました。

(年間配当金 15 円の内訳…中間配当金:7 円 50 銭、期末配当金:7 円 50 銭)

【参考】 21 年度 前提条件

		前回発表 (21 年度)	今回発表 (21 年度)	差異	今回発表 (21/下期)
共 通	為替レート(円/\$)	100	93	(-)7	90
	原油FOB(\$/BBL) <ドバイスポットベース>	55.0	66.8	(+)11.8	70
石油グループ	燃料油販売量(百万kl)	24.1	22.7	(-)1.4	11.9
	パラキシレン市況(\$/t) <ACP(実勢)ベース>	970	1,008	(+)38	1,030
金属グループ	銅価(¢/lb)	200	244	(+)44	250
	電気銅販売量(千t/期)	601	599	(-)2	298
	環境リサイクル金回収量 (t/期)	7.9	6.2	(-)1.7	3.3
	圧延銅箔販売量 (百万m/月)	2.1	2.8	(+)0.7	2.9
	精密圧延品販売量 (千t/月)	2.5	3.4	(+)0.9	3.8

(注)上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上